

人権だより

(令和5年度2月号)

川之石高校人権委員会 担当 1年次3組

2月16日(金)の6時限目に、1・2年次生が本年度最後の人権・同和教育ホームルーム活動を実施しました。どのクラスでも、それぞれのテーマに基づいて真剣な意見交換が行われていました。今回の人権だよりでは、各クラスの取組の様子とその感想の一部を掲載します。

1年次生学習テーマ ～同和問題の解決を目指して～

【1年次1組】



◎学んで、差別を見抜く力を付けないと差別は見えないと思いました。

◎「自分には関係がない」と思うことは、差別をしているのと同じことだと気が付きました。

◎気が付かいうちに差別をしているかもしれないと思いました。自分自身と向き合わないといけないと思いました。

【1年次2組】



◎インターネットの普及とともに、インターネット上での差別が増えていることに気が付いた。ネット上でも差別を見抜く力を付けなければいけないと思った。

◎「そっとしておけば差別はなくなる」という考え方では、かえって差別が増えていくと思う。正しい知識を身に付けて、自分にできることをしていきたい。

【1年次3組】



◎そっとしておけば差別がなくなるのなら、今差別は残っていないのではないかと。そっとしておく人がいるのに、差別はなくなっていないし、広がっている。

◎親や身近な人と話し合っ、正しい知識を教えあったりしたらいいと思う。自分から進んで同和問題を正しく知っておくべきだと思う。

2年次生学習テーマ ～人権獲得の歴史Ⅲ 戦後の解放運動～

【2年次1組】



◎今回のホームルーム活動では、差別や貧困によって文字を学ぶ機会を奪われてきた人たちについて学びました。文字を知らずに生きるということとはとても不自由で不安なことだと思います。識字学級で学び、文字が読めるようになったときの喜びは相当大きかったのではないのでしょうか。

◎現在でも差別によって不自由な生活を強いられている人はいるので、毎日の生活の中で差別を許さないという気持ちをもっていきたいです。

【2年次2組】



◎「なぜ現代でも差別が残ったままなのか。」ということについて皆で考えました。私は、昔から深く根付いた差別意識が正されることのないまま時代を超えてきたからだと思いました。クラスの中には「差別をしている側が、悪いことだと思っていない。」という意見もありました。差別をなくするためには、まずみんなが正しい知識を身に付けることが必要だと思います。そして、誰も傷つけないために、自分の発言や行動に責任を持ちたいと思いました。

【2年次3組】



◎識字学級について初めて知りました。私は昔から文字を学習することは当たり前だと思っていたので、文字を読めないことがどれだけ苦痛なことか、初めて考えました。あってはならないことだと思います。

◎2年次でも人権・同和問題について学び、考えを深めることができました。3年次ではさらに身近な人権・同和問題について学ぶので、もっと正しい知識を付けていきたいです。

～御卒業、おめでとうございます～

3年次生のみなさん、いよいよ御卒業ですね。これからの人生では、色々な人との出会いが待っていると思います。自分を大切にしながら、自分と違う人たちも大切にできる人になってください。皆さんなら今後も学び続け、正しい知識を持った大人になってくれることと思います。皆さんの活躍と幸せをお祈りしています。御卒業、おめでとうございます。

